

年頭のことは

横芝町議会議長

鈴木 繁



町民の皆さん、明けましておめでとございます。

皆さんと共に健勝で昭和五十一年の新年を迎え新春のお祝いができますことをご同慶に存じます。年の始めに当り、議会を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

私共、町議会議員は昨年四月の選挙に皆さんのご支援をいただき当選させていただきました。ここにあらためて深く感謝申し上げます。次第でございます。以来調和、全員一体となって議会人としての責任を自覚しつつ、皆さんのご期待に添うよう不断の努力を続けております。年の改まると共に尚一層決意して、町のため、皆さんのために実効を多とするよう最善の努力をいたす所存でございます。現今の社会をとりまく諸情勢は

あまりにもきびしく全般的に悪化の一途をたどりつつあり、これが打開に考慮されているものの、今だ困惑の域を脱するには道遠さの感を深くするものがあります。地方自治体もまた深刻な財源不足に陥り、行財政運営の困難に苦悩しているのですが、このような地方財政の危局は、経済の高度成長の下で順調な財政収入に伴う拡大を背景にした事業費の増大機構の膨張等に基づく肥大化、肥満化によるものであり、また、これが硬直化の度合を高めてきた財政体質が低速成長からゼロ成長ないしマイナス成長へと経済基調が一変したことにより一遍にその欠陥を露呈したことによるものであります。従って地方行政の運営に當り、これまでの高度成長期に醸成され蓄積された制度や慣行に抜本的な見直しを加え廃絶すべきもの、また縮減すべきものは断乎としてこれを行い、改善すべきものは機敏に行い、経費の効率化に徹することによって、真に地域住民の福祉の向上につながる行政を展開して行かなければなりません。このような地方行政の体質改

善が敏速にかつ的確にできるかどうかにかつこの地方自治の運命がかかっているといつても過言ではないと思えます。この場合に於て議会の果すべき役割・使命というものは極めて重大なものがあります。議会は住民の代表として行政に対し厳正な批判監視を通じて効率化の実現を図ると言う大所高所に立つての議会機能の行使が強く望まれるところであります。益々鈍化しつつある経済活動は不況に度を加え経営の危機に直面し倒産の苦境に強いられているものも少なくない現状であり、景気回復も期待薄であり、日本のもつ資源の対外依存の必然的政策をも併せ考

るものであります。ときに当り私共議会人は安易を捨て、より深重にして慎重なる行動をし、もって町の安定と住民福祉に寄与すべく努力することこそ当然の責務であります。私自身は微力ではありますが幸い議員各位の献身的な活動と事務局職員の方により、着実なる実績をあげており難局打開のために尚一層の努力をして参る所存でございます。従いまして、私達議会人は町民全体の奉仕者であることを忘れることなく一生懸命に頑張りもって皆さんから信頼され、愛され、親しまれる議員として、また議会になるよう強く留意して参りたいと存じますので、町民の皆さんの深いご理解をいただき議会活動のために、また、町勢進展のために旧年に倍しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年は皆さんにとつてよりよき意義ある年でありませう念じつつご健勝とご多幸をお祈りして年頭のご挨拶といたします。

有線条例制定

有線放送業務に関する条例が制定され、従前の有線放送電話施設の設置及び管理に関する条例は、五十一年三月三十一日を以て廃止になります。この条例施行に伴って、五十一年四月一日からは一般通話業務及び公社電話接続を廃止し、町の広報施設として運営するものです。

補正予算

三千六百五十万

一般会計の補正予算では、三千六百四十八万九千円を追加し、予算総額十億六千九百二十八万四千円となりました。この主なものは給与改訂による人件費、役場庁舎前舗装工事費、山武郡市広域水道企業団負担金、保育園委託料、東陽病院組合負担金、東町地先排水整備工事等であります。

横芝町助役に

平山清氏就任

五十一年六月から空席となつて

議会だより

十二月定例議会は十五日から十七日の三日間の会期が開かれ、十二議案の議決のほか、四十九年度一般会計及び特別会計の決算が認